

Josef Gabriel Rheinberger (1839-1901)
Drei geistliche Gesänge op. 69-1 „Morgenlied”

J.G.ラインベルガー 朝の歌「星は消え去り」

この作品の最初のスケッチの上部に„Morgenlied von Hoffmann Nr. 38” (ホフマン 38 番の朝の歌)とある。ホフマンとは、Hoffmann von Fallersleben(1798-1874):ホフマン フォン ファレスューベンで、彼の詩集「子供の歌」„Kinderlieder” の 38 番が「朝の歌」„Morgenlied” である。最初の草稿が完成したのは 1858 年 6 月 24 日ラインベルガー 19 歳の時、ミュンヘンである。彼の感性は、夜から朝にかけての自然の変化を音楽的に細やかにとらえ、その自然を包む神の摂理や神秘をハーモニーの中に忍ばせている。

Die Sterne sind erblichen
mit ihrem güldnen Schein,
bald ist die Nacht entwichen
der Morgen dringt herein.

星たちは色あせた
その金色の輝きを放ちながら
やがて夜を追いやり*
朝が入りこんできた

*音量(PからFへの変化)や音色明暗での夜が去り、朝がやってきた事を表現している。

Noch waltet tiefes Schweigen
im Tal und überall.
Auf frisch betauten Zweigen
singt nur die Nachtigall.

まだ深い沈黙が
谷いたる所を支配している
新鮮な朝露にぬれた枝の上で
ナイチンゲールが歌っている*

*ナイチンゲールはドイツではその鳴声で自然を深い冬の眠りから起こし春を呼び、人間を愛や生へと目覚めさせる鳥である。

Sie singet Lob und Ehre
dem hohen Herrn der Welt,
der über'm Land und Meere
die Hand des Segens hält.

ナイチンゲールは賛美や栄光を歌う
万物の高き神に向かって
神は地上や海に
恵みの手*を差し伸べる

*ハーモニーの持続時間を拡大する事で、神の恵みの手が大きく力強く、万物全てに広がる様子を表現している。

Er hat die Nacht vertrieben
ihr Kindlein fürchtet nichts,
stets kommt zu seinen Lieben
der Vater alles Lichts.

神は夜を追い払った
あなた方子供らよ、怖れる事は
何もない。常に神の愛する人々に
全ての光の父*はやって来る

*聖書のヤコブへの手紙 1 ; 17 に「あらゆる良い贈り物、あらゆる完全な賜物は、上から、光の父から下って来る。」とある。